



サーバ室廃止に向け 段階的にシステム基盤を移行

導入：2022 年
資料公開：2024 年

背景

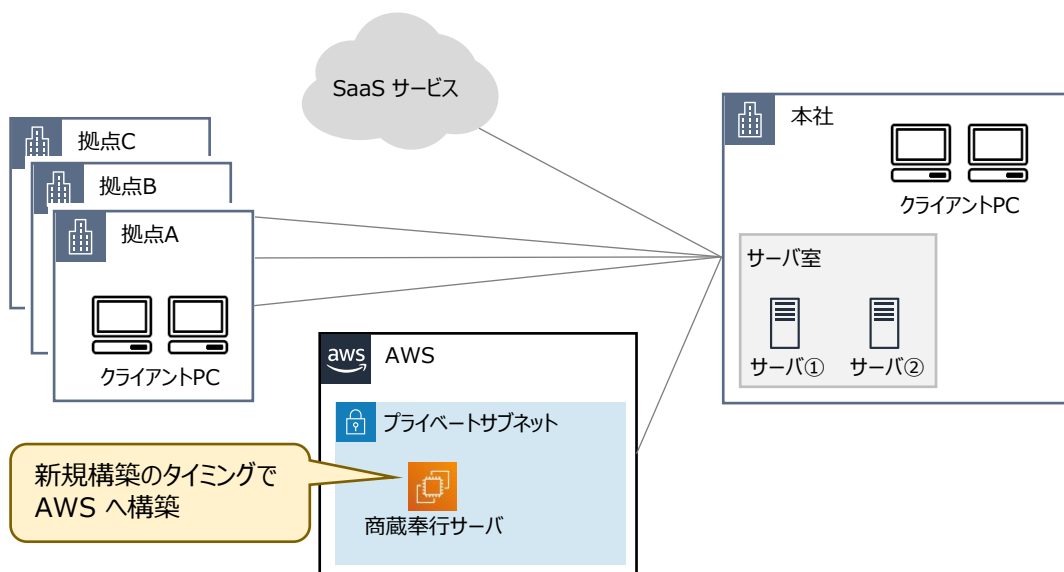
福山商事さまでは、商蔵奉行の導入を検討されていました。一方で、本社サーバ室の廃止についても検討されており、クラウド活用による実現性についてご相談をいただきました。

システム基盤移行にむけて

クラウドへシステム基盤を移行する場合、①一度に移行する方法と②段階的に移行する方法があります(詳細は裏面を参照ください)。福山商事さまでは、段階的なシステム基盤移行の第一弾として、商蔵奉行をアマゾン ウェブ サービス(AWS)に構築しました。

AWS では、提供されているサービスの利用はもちろんのこと、商蔵奉行などのパッケージ製品の導入も可能です(※)。また、ファイルサーバや Active Directory が導入されたマネージドサービスも提供されていますので、少ない工数で社内システムを構築することができます。

(※ パッケージ製品によってはオンプレミスと AWS でライセンス形態等が異なる場合がありますので、導入の際は事前にご確認ください)



お客さまの状況に合わせた AWS の活用をご提案いたします。
ぜひ一度リウコムへご相談ください！

クラウドへのシステム基盤移行方法

クラウドへのシステム基盤移行には大きく2つの方法があります。

1. 一度に移行

一定期間でオンプレミスにある全てのサーバをクラウドへ移行します。OS やミドルウェア等のバージョンを変更しない場合、AWS が提供する移行サービスを利用することで短期間でシステム基盤を変更することができます。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 早い段階からシステム基盤に対するクラウドサービスのメリットを適用できます。 オンプレミス環境にかかっていたコストを早めに手放せます。 	<ul style="list-style-type: none"> 移行作業を行うためのまとまったリソース（人や時間）を確保する必要があります。

2. 段階的に移行

サーバ更改や新規導入などサーバ構築が必要になったタイミングでクラウドへ移行します。併せて OS やミドルウェア等の見直しを行うことで、最適なりソースを選択できます。

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 既にクラウド環境があれば、移行前に事前検証を行うことができ、適正な構成を検討しやすくなります。 	<ul style="list-style-type: none"> 全サーバの移行が完了するまでオンプレミス/クラウドの両システム基盤を維持することになり、両基盤を管理する必要があります。

お客様の声

Q1. AWS を導入するにあたり、社内調整等で苦労されたことはありますか。

A1. 以前より SaaS を利用していたため、クラウドを利用することに対する抵抗感はなくスムーズに導入できました。

Q2. AWS を導入して変わったことはありますか。

A2. 自社サーバ室のサーバは台風や計画停電の度に停止・起動を行っていますが、サーバによって手順も異なるためかなり煩雑です。AWS に構築したサーバは台風等による停電がないため停止・起動を行う必要が無くなり、管理の手間を削減することができました。

Q3. AWS を使ってみて分かったことはありますか。

A3. オンプレミスサーバと遜色なく利用できることに加え、約5年に一度のサーバ更改から解放され、セキュリティレベルも高い状態を維持できるということが分かりました。

お問い合わせはこちら



〒900-0015

沖縄県那覇市久茂地 1 丁目 7 番地 1 号
琉球リース総合ビル 1 1 階

☎ 098-869-5003

✉ aws_info@ryucom.co.jp

